



成果目標

国道交差部や市道栃木六本杉線の渋滞による時間的損失を解消し観光ネットワークの拡大と通勤通学圏の拡大を図る

アウトカム指標の算定方法→所要時間短縮率(%) = 100 - (改築後の所要時間 ÷ 現況所要時間 × 100)

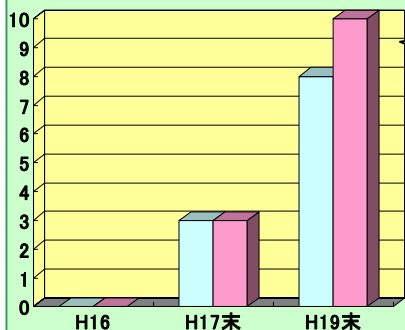
●整備目的

狭隘区間や橋梁を改築し渋滞等による時間損失を改善し観光や地域振興の活性化を図ります。

- ・ 現道及び橋梁の拡幅・・・隘路区間の解消

アウトカム指標	現況値 H16当初	中間目標 H17末	最終目標 H19末
目標値	—	3.0	8.0
実績値	—	3.0	10.0

▼ アウトカム指標の推移



歩行者にとっても危険な状況です。



●整備達成状況

事業が概ね順調に進捗し、目的地（国道46号線）までの到達時間が26分から23.3分に改善した。この結果、平成19年度末の最終目標値を上回ることができた。

完成事業の紹介

達成!

西明寺工区 栃木橋

幅員が狭く、通行車両のすれ違いができない状況でした。さらに歩行者にとっても危険な状況でした。



館下橋工区 館下橋

幅員が狭く通行車両のすれ違いができない状況でした。



◆今後の方針

未だ幅員の狭い箇所が一部存在しており、今後も路線の重要性（ネットワークの構築、交通量等）や現道の状況に応じて、順次整備を進めていき、安全性・快適性を向上させていく。

交通量の増大と経年劣化により路面の状況が悪化してきているため、舗装修繕工事を今後検討していく。

